

# ま な が わ 川 ダ ム

～ 環 境 マ ッ プ ～



真名川ダムは治水、発電、利水用ダムとして、1977年に完成したアーチ式コンクリートダムです。

ダム建設によって環境は大きく変わりましたが、ダム周辺は生き物の新たな生息環境として、いろいろな生き物が生息する大切な場所になっています。

どんな生き物と出会えるか、ダムやその周辺をどのように利用しているか、出かけてみましょう。

クイズにも答えてみてね。  
最初の質問は、  
Q-1. 私はだれでしょう？  
答えは後のページ

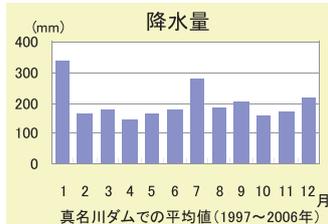
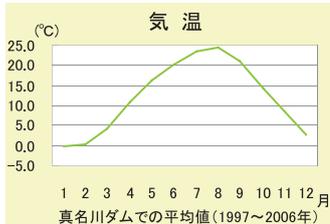


真名川ダム周辺は、標高が350m程度と高く、さらに周辺の加越山地、越美山地には1,000mを超える山々が連なっています。

ダム周辺は、日本海型気候の多雨多雪地域に属し、最近10年間の平均年間降水量は2,800mm程度で、降水量が多いのは、夏(7月)と冬の積雪が多い1月です。気温は、1月、2月が0℃程度と低く、8月が最も高く、25℃程度になります。

ダムが位置する九頭竜川は、流域面積が2,934km<sup>2</sup>の一級河川です。流域の81%が山地で、ブナ・ミズナラ林等の豊かな自然が広く保全され、ダム湖を含む流域の一部は、奥越高原県立自然公園に属しており、ダム湖周辺は鳥獣保護区に指定されています。

ダムまでは、大野市街地からは車で約30分、福井市からは国道158号および国道157号で約1時間で到着します。



## 【底生動物】

底生動物とは、主に水底で生活する小さな生き物で、貝、エビ・カニなどの甲殻類、水生昆虫などがいます。水生昆虫はカワゲラ、カゲロウ、トビケラ、トンボなどのなかまで、多くのものは幼虫の時期だけを水中で過ごします。

ダム湖周辺では300種類以上の底生動物がみられ、その中にはコシダカヒメモノアラガイ、ミネトワダカワゲラ、ミヤマノギカワゲラ、オオナガレトビケラなどの貴重種もみられます。

ダム湖の湖底にはミミズのなかまなど限られた生き物しかすんでいませんが、ダムに流入する川やダムの下流の川にはいろいろな種類の生き物が、いろいろな場所(流れが速くて浅い「瀬」、流れが緩やかで深い「淵」、石の表面や石の下など)にすんでいます。巣をつくったり、石の間に網を張るものもいます。石を静かに取り上げて、どんな生き物がいるかみてみましょう。



① コシダカヒメモノアラガイ



③ サワガニ



④ ミヤマノギカワゲラ (幼虫)



⑤ エルモンヒラタカゲロウ (幼虫)

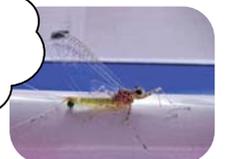


⑥ ヒゲナガカワトビケラ (幼虫)



⑦ ハビトンボ (幼虫)

Q-2. この中でボクの子どものときの写真はどれ？



【魚 類】

ダム湖周辺では25種類の魚類がみられ、その中にはニッコウイワナ、カジカ、アカザ、アジメドジョウなど9種類の貴重種もみられます。

ダム上流、下流河川ではニッコウイワナ、カジカ、アカザ、アジメドジョウ、アユ、タカハヤ、アブラハヤなどがみられます。ダム湖内の止水環境<sup>しすいかんきょう</sup>ではコイ、ニゴイ、フナ類などがみられますが、これらは魚の放流や放流する魚に混じって入ってきたものと考えられます。

ダム湖内及び上流河川ではサツキマス、トウヨシノボリなど本来は海と川の両方を利用する魚もみられ、ダム湖を海の代わりに利用しています。



① ニッコウイワナ



② カジカ



③ アカザ



④ アジメドジョウ



⑤ ヤマメ



⑥ アユ



⑦ タカハヤ



⑧ トウヨシノボリ



⑨ ギンブナ

Q-3. お父さんが、卵を守る魚は？



真名川ダム周辺での開花時期

名前 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ミスミソウ												
エビネ												
ニリンソウ												
ヤマブキ												
ヤマブキソウ												
エチゴキジムシロ												
ヤマシャクヤク												
フジ												
カキツバタ												
ホオノキ												
トチノキ												
サツキ												
ハクウンボク												
ケナシヤブデマリ												
タニウツギ												
イワガラミ												
ウツギ												
ネムノキ												
タマアジサイ												
ハンゴンソウ												
カワラハハコ												
サンインヒキオコシ												
ハクサンアザミ												
リンドウ												
ツメレンゲ												

真名川ダム周辺での鳥の飛来時期

名前 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マガモ												
コガモ												
ヒドリガモ												
サシバ												
イツツバメ												
オオルリ												
ノビタキ												
メボソムシクイ												
サメビタキ												

このマップは、平成3～19年度に国土交通省が実施した「河川水辺の国勢調査」の調査結果からまとめられています。真名川ダム湖周辺には優れた自然が残されていますが、一方、特定外来生物（生態系等に被害を及ぼす恐れがあり、規制・防除の対象となる生物）のオオハンゴンソウ<sup>おおかんごんそう</sup>が見つかっており、また、魚の食害<sup>くわい</sup>や糞害<sup>ふんがい</sup>による森林被害が心配されるカワウの増加も確認されています。

今後は、これらの生物の動向にも注意することが必要です。



オオハンゴンソウ



カワウ

【質問の答え】

Q-1. わたしは「<sup>まなひめ</sup>麻那姫」。今から1,200年くらい前の干ばつで、竜神の怒りをおさめるために私が身を捧げた川を真名川というのよ。

Q-2. ⑤エルモンヒラタカゲロウ Q-6. ②カジカガエル

Q-3. ②カジカ Q-7. ②ジムグリ

Q-4. ④サツキ Q-8. ②ムササビ

Q-5. ⑥アサギマダラ Q-9. ⑦オオルリ



国土交通省 九頭竜川ダム統管理事務所

〒912-0021 福井県大野市中野 29-28

TEL (0779) 66-5300

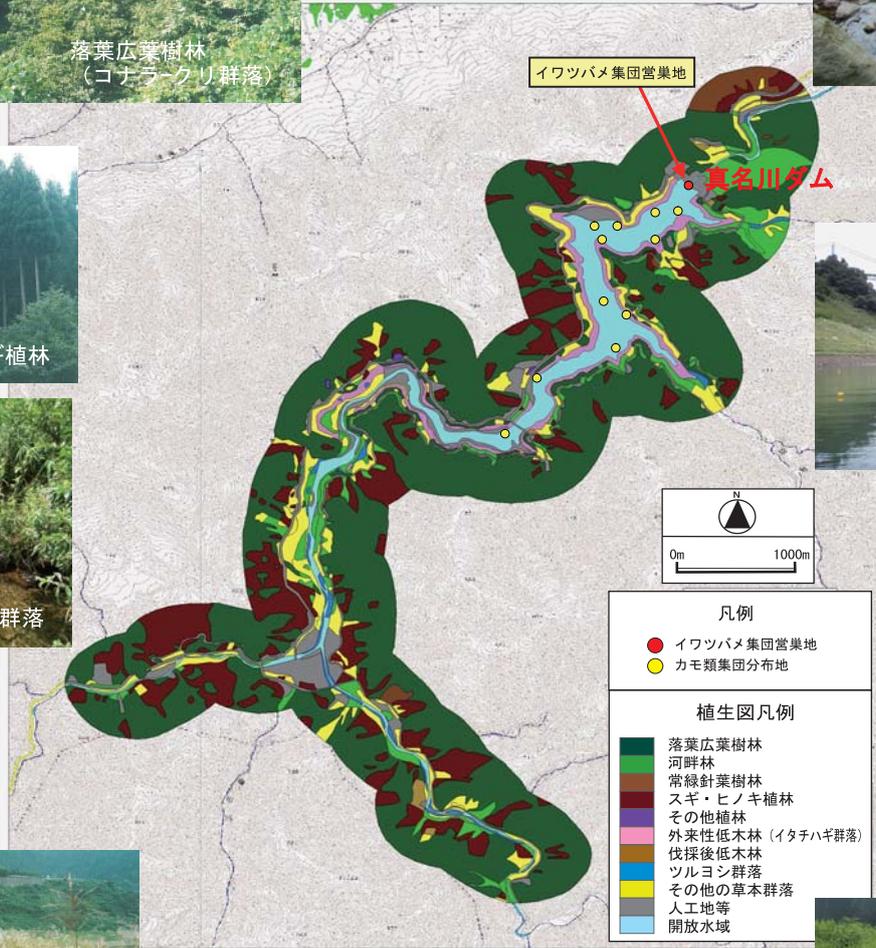
URL <http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu/>

真名川ダム管理支所

〒912-0423 福井県大野市若生子 25 字水谷 1-36

TEL (0779) 64-1011

# ダム湖周辺の状況



Q-4. 陰曆の五月頃に咲く  
ツツジという意味で  
名前がついた植物は？

## 【植 物】

福井県は日本海型気候と太平洋型気候のさかいめにあたることから、両気候帯で特徴的な植物（ハイイヌガヤなどの日本海側の植物とマルバノキなどの太平洋側の植物）が同時にみられることが特徴です。

ダム湖周辺では47種類の貴重種を含む約1,100種類の植物がみられます。

ダム湖周辺の斜面はクリ、コナラなどの落葉広葉樹が森林を形成し、その間にスギ、ヒノキなどの植林がモザイク状に分布します。

林縁部にはタニウツギ、ネムノキなどの低木や、ススキ、クズなどの草本が、河川の砂礫地や草地ではネコヤナギなどのヤナギ類が、水辺にはツルヨシ、ミゾソバなどがみられます。

ダム下流の岩上にはツメレンゲ、サツキなどの周辺とは違った植物がみられます。



① ヤマフキ ② フジ



③ キリ ④ サツキ ⑤ ウツギ



⑥ ネムノキ ⑦ ハンゴンソウ ⑧ リンドウ

【昆虫】

ダム湖周辺では約 2,600 種類の昆虫がみられ、その中にはムカシトンボなど 13 種類の貴重種も含まれています。タマムシなどコウチュウや蝶と蛾のなかまが多く、これらで全体の 70% 程度を占めています。

初夏、ダム湖畔のヤナギにはコムラサキが、シモツケが咲く岩壁にはホシミスジが、沢沿いではムカシトンボがみられます。夏、集落の薪積みには美しいルリボシカミキリが集まり、ときには樹上を飛びオオムラサキもみられます。秋には南へ渡る途中のアサギマダラが花に群れて蜜を吸っている姿もみられます。



④ ホシミスジ



⑤ オオムラサキ



⑥ アサギマダラ

監修：下野谷 豊一（日本鱗翅学会） 写真提供：下野谷 豊一（②、④、⑥）、福井県自然保護センター（①[福田 健 撮影]、③[浅野裕治 撮影]、⑤）

【両生類】

ダム湖周辺ではヒダサンショウウオ、アカハライモリ、ナガレヒキガエルなどの貴重種のほか、カジカガエルなどの 8 種類のカエルがみられます。

Q-5. 遠く、台湾など海外へ移動が確認されている蝶は？  
Q-6. 「フィー、フィー」と鹿のような声で鳴く生き物は？



① ムカシトンボ



② ルリボシカミキリ



③ コムラサキ



① ヒダサンショウウオ



② カジカガエル



③ ナガレヒキガエル

監修、写真提供：長谷川 巖（福井県両生爬虫類研究会）

【爬虫類】

ダム湖周辺ではニホントカゲやカナヘビのほか、タカチホヘビ、シロマダラ、ヒバカリなどの貴重種を含む 8 種類のヘビがみられます。

水辺ではシマヘビやヤマカガシ、山林ではマムシ、シロマダラ、タカチホヘビ、ジムグリなどがみられます。ヤマカガシやマムシには毒があり、注意が必要です。

【哺乳類】

ダム湖周辺ではカヤネズミ、モモジロコウモリ、国の特別天然記念物のニホンカモシカなどの貴重種を含む 26 種類の哺乳類がみられます。その多くは、ニホンリス、ムササビ、ニホンザル、ツキノワグマなどの森林性の種類です。最近ではニホンジカも確認されています。



① ニホントカゲ



② ジムグリ



③ マムシ

監修、写真提供：長谷川 巖（福井県両生爬虫類研究会）



① ニホンカモシカ



② ムササビ



③ ツキノワグマ

監修：松村 俊幸（福井県自然保護課） 写真提供：福井県自然保護センター

Q-7. 土の中に潜る珍しい習性があるヘビは？



Q-8. 「空飛ぶ座布団」と呼ばれる生き物は？

【鳥類】

ダム湖周辺にはクマタカ、サンショウクイ、ヤマセミ、オシドリなど 21 種類の貴重種を含む約 100 種類の鳥類が生息しており、その多くは森林性の種類ですが、ダム湖にはマガモやコガモなどのカモ類も飛来します。また、ダムのところでは春から夏にかけて、イワツバメが集団で繁殖を行っている様子を観察することもできます。

比較的良好に出会える森林性の種類は、森林内ではコガラ、オオルリ、キビタキ、林縁ではウグイスやホオジロですが、河川ではキセキレイやカワガラスなどの水辺を好む種類もよくみられます。



① クマタカ



② ヤマセミ



③ イワツバメ



④ マガモ



⑤ コガモ



⑥ キビタキ



⑦ オオルリ



⑧ ホオジロ



⑨ カワガラス

Q-9. 鳴き声が美しいといわれる日本三鳴鳥はウグイス、コマドリ、あと1つは？



監修：松村 俊幸（福井県自然保護課）